

## 29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： \_\_\_\_\_

病院施設番号： 110002

臨床研修病院の名称： 医療法人社団誠馨会セコメディック 病院

臨床研修病院群番号： \_\_\_\_\_

臨床研修病院群名： \_\_\_\_\_

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	セコメディック病院 救急・基本診療重点型プログラム
2. 研修プログラムの特色	<p>当プログラムでは3つの大きな柱を設定している。</p> <p>① 救急・プライマリケア対応          プライマリケアにおいて、救急対応能力は非常に重要である。救急科研修を多くローテートすることで、救急専門医の指導の下、日常臨床における豊富な救急診療経験を積むことが可能である。基本診療科である内科系・外科系各科ローテートにおいても救急対応をキーワードに研修を行う。臓器や専門性にとらわれることなく、全ての医師に求められる基本的・総合的な診療能力を身につけ、1年次終了時点では、救急当直が可能な実力を身につけることを目標としている。</p> <p>② 基本手技の経験と習得          気管挿管、中心静脈確保、胸腔ドレナージ、動脈ライン確保などの救急対応に必要な手技をはじめとする研修医手帳の臨床手技19項目の習得を目標としたトレーニングを行う。手技習得に適した症例があれば、他科研修医であっても声をかけ、臨床手技の経験をすることが可能である。24時間、365日、2年間 多く手技を経験し、習得することを目標としている。</p> <p>③ 画像診断          救急・プライマリケアにおける画像診断の果たす役割は非常に大きい。腹部、心臓、血管系超音波検査と胸腹部単純写真・CT・MRIの基礎的な読影が可能となることに力をいれている。各診療科での研修を中心に臨床検査科、放射線診断科での検査に積極的に参加し、各超音波専門医、放射線科専門医とのディスカッションのもとに読影能力の向上を図る。</p> <p>上記の3つの柱の研修・習得が2年間の目標である。</p> <p>また各種資格（BLS、ACLS、医療安全管理等）の取得も可能である。</p> <p>初期研修終了後は、後期研修医として継続的に就業することも可能である。</p> <p>研修医の体力、到達度、将来希望する診療科に配慮した研修科選択は、研修管理委員会の判断の下に変更可能な柔軟性のあるプログラムである。</p>
3. 臨床研修の目標の概要	<p>(1) 常に利他的態度で、多職種と協力した診療を行う。</p> <p>(2) 患者、他職種、同僚、上司、後輩等から信頼される医師を目指す。</p> <p>(3) 「習うより慣れろ」の言葉通り積極的に体を動かし様々な経験を積むことで、基本的な力量を身につける。</p> <p>(4) 社会人としての必須のコミュニケーション能力を身につける。</p>
4. 研修期間	( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)
備考	<p>研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。</p> <p>希望者は専門研修プログラム（総合診療科）として継続的に就業することも可能</p>

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	110002	セコメディック病院	28週	4週
	救急部門	110002	セコメディック病院	16週	
	地域医療	147675 034261 147699	板倉病院 東通村診療所 下田メディカルセンター	4週	一般外来1週 在宅診療1週
	外科	110002	セコメディック病院	12週	週
	小児科	030887 070008 030153	千葉メディカルセンター 東京女子医科大学八千代医療センター 船橋市立医療センター	4週	週
	産婦人科	030887 070008 030153	千葉メディカルセンター 東京女子医科大学八千代医療センター 船橋市立医療センター	4週	
	精神科	040052 030404 036418 096702	秋元病院 船橋北病院 八千代病院 平和台病院	4週	
	一般外来			週	
病院で 定めた 必修 科目					週
					週
					週
					週
選択 科目	内科系・外科系・救急科	110002	セコメディック病院	24週	
	地域医療	147675 034261 147699	板倉病院 東通村診療所 下田メディカルセンター		
	小児科	030887 070008 030153	千葉メディカルセンター 東京女子医科大学八千代医療センター 船橋市立医療センター		
	産婦人科	030887 070008 030153	千葉メディカルセンター 東京女子医科大学八千代医療センター 船橋市立医療センター		
	精神科	040052 030404 036418 096702	秋元病院 船橋北病院 八千代病院 平和台病院		
	調整	110002	セコメディック病院		8週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 60 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

- ・研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・最大 4 回/月程度（週 1 回程度）
- ・剖検は千葉メディカルセンターで当院の患者を対象に行い、臨床病理検討会（CPC）はセコメディック病院主催とする。
- ・地域医療は臨床研修協力施設にて 4 週以上行い、基幹型臨床研修病院で研修を行ったものとみなす。
- ・救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
- ・一般外来の研修を行う診療科・・・内科、地域医療

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること





